

平成 2 5 年度事業報告

(平成 2 5 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 6 年 3 月 3 1 日)

基本財産の運用等による当期収入は 6 1, 8 3 1, 2 4 8 円で、次の通り各種事業を実施いたしました。

事業部門

公益目的事業 1

大学の教育研究に対する助成事業 (2 7, 0 0 0 千円) 及び選考委員会の開催

(1) 調査研究助成 9 件 1 0, 0 0 0 千円

北陸先端科学技術大学院大学の若手教員が行う調査研究等に対して助成を行った。

(ア) データマイニングを用いた分子磁石材料設計手法の開発

(ダム准教授 1, 5 0 0 千円)

(イ) 高分子系の反応解析に向けた計算科学研究

(本郷助教 1, 5 0 0 千円)

(ウ) 構造規定酸化物表面に吸着した水分子の配列・配向に高電場が与える効果の解明

(笹原助教 1, 5 0 0 千円)

(エ) Creation of New Complex Nanoparticle Based Chalcogenides(新規多元系カルコゲナイド化合物ナノ粒子の創製)

(テリック助教 1, 5 0 0 千円)

(オ) 瞬間熱処理による結晶シリコンの表面再結合速度低減

(大平准教授 1, 5 0 0 千円)

上記の他 4 件の研究に対して 2, 5 0 0 千円の助成を行った。

(2) 特別研究助成 3 件 1 2, 0 0 0 千円

北陸先端科学技術大学院大学の教員が行う、研究科・センターの枠にとらわれないプロジェクト研究に対して助成を行った。

(ア) ユビキタス音声コミュニケーションの研究基盤創成

(鵜木准教授 4, 0 0 0 千円)

(イ) 数理論理学と情報科学の融合

(石原教授 4, 0 0 0 千円)

(ウ) モノレイヤーナノエレクトロニクス研究拠点

(水田教授 4, 0 0 0 千円)

(3) 学生研究奨励金 23件 5,000千円

北陸先端科学技術大学院大学研究科(博士後期課程)で優れた研究活動を行う学生への研究奨励経費に対して助成を行った。

(ア) 個体塩基触媒としての炭酸ジルコニウムの調製とグルコース異性化と高付加化成品合成への展開 (ファムスンアン 382千円)

(イ) 多元系金属ナノ粒子のナノ構造制御によるバイオブローブとしての機能発現に関する研究 (ダオアンティゴック 360千円)

(ウ) 活性点および担体構造設計に基づく新規 Ziegler-Natta モデル触媒の開発 (後藤 啓介 356千円)

(エ) 緊急時避難における状況認識を支える多層オントロジー (ダムンラット チャイナン 355千円)

(オ) 株式市場予測のためのソーシャルメディアを対象とした感性解析 (ケイン ティエン ハイ 313千円)

(カ) 知識共有に及ぼす文化インパクト理解を通じた異文化処理能力の向上 (アッサインタラソク ビンパ 294千円)

(キ) 可塑剤添加ポリ乳酸の結晶化挙動と動力学特性 (コトウ 292千円)

(ク) 与えられたトピックを支持する文の検索に関する研究 (ケイン シン ハイ 271千円)

(ケ) ソーシングインテリジェンス～水平分業時代における企業戦略のための第三のインテリジェンス～ (井上 敬介 265千円)

上記の他14件の研究に対して2,112千円の助成を行った。

(4) 選考委員会の開催

上記助成事業に対する選考(選考委員5名による書面選考)を8月、10月、及び1月に行った。

公益目的事業2

大学と企業との共同研究助成事業及び産学官交流事業

(1) 共同研究の実施に対する助成(3件 1,155千円)

北陸先端科学技術大学院大学と民間企業が行う先端科学技術分野に関する共同研究に対して助成を行った。

(ア) スパコンを活用した雷シミュレーションの高速化に関する研究 (北陸電力(株) 735千円)

(イ) 液体電極プラズマの標準化と組込装置の実用化 (株)マイクロエミッション 270千円)

(ウ) メタボリックシンドローム対策用センサ開発とその応用

(有)バイオデバイステクノロジー 150千円)

(2) 産学官交流事業

(ア) 平成26年2月26日(水)にホテル日航金沢において「北陸地域の産学連携・産産連携のマッチングイベント」を北陸先端大学及び中小企業基盤整備機構と共催した (1,622千円)

基調講演 「北陸地域における産学連携への期待」
講 師 一般財団法人日本総合研究所
理事長
寺島 実郎 氏

参加企業による製品等のパネル展示

企業・大学による1分間プレゼンテーション

分科会 ・ものづくりにおける課題の解決を共用先端機器でサポート
・ハイテク技術を現場に活かそう
・製品・商品の魅力をアピールしよう
・印刷からものづくりのツールまでを語る

(イ) 産学官交流に関する情報提供等(805千円)

機関誌『ADVANCED』を発行、賛助会員その他関係機関等に配布し、北陸先端科学技術大学院大学の研究教育活動の状況や支援財団の事業内容等について情報提供を行った。

平成25年10月12日に開催した「JAIST-FESTIVAL」(公開講座、各研究科の実演、図書館公開、模擬店設営等)に協賛し、地域社会と大学の交流促進の支援を行った。

先端大教員、学生、地元企業を対象としたJ-BEANSセミナーの開催支援を行った。

北陸地区の企業と先端大の学生が交流を深めるため、石川ハイテク交流センターにおいて学生を主体とした「北陸地区企業・JAIST交流フォーラム」を開催した。

公益目的事業3

学生に対する奨学資金助成事業及び選考審査委員会の開催

(1) 奨学資金助成(11件 3,840千円)

優秀な学生確保と北陸3県への科学技術者の定着を目的として、北陸3県に就職を希望する学生(一般枠)及び特に優秀な学生(特別枠)に奨学資金を助成した。

《特別枠》

新規奨学生 1名 (博士前期課程)

《一般枠》

新規奨学生 4名 (博士前期課程 3名・博士後期課程 1名)
継続奨学生 6名 (博士前期課程 5名・博士後期課程 1名)

(2) 選考審査委員会の開催

奨学生選考に対する審査(選考審査委員5名による選考審査)を7月及び12月に行った。

管理部門

理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会・評議員会を開催した。

《理事会》7回開催

第14回(書面)

- ・開催日 平成25年4月1日
- ・決議があった日 平成24年4月8日
- ・議案 第1号議案 「第10回評議員会の招集」の件
第2号議案 「選考委員会委員の選出」の件
第3号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」の件

第15回(書面)

- ・開催日 平成25年5月7日
- ・決議があった日 平成25年5月16日
- ・議案 第1号議案 「第11回定時評議員会の招集」の件

第16回(定時)

- ・開催日 平成25年6月10日
- ・場所 金沢ニューグランドホテル
- ・議案 第1号議案 「平成24年度事業報告及び決算」の件

第17回

- ・開催日 平成25年6月10日
- ・場所 金沢ニューグランドホテル
- ・議案 第1号議案 「理事長及び専務理事の選定」の件

第18回(書面)

- ・開催日 平成25年7月3日
- ・決議があった日 平成25年7月12日

- ・議 案 第1号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」の件
- 第2号議案 「役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程に附則を追加」の件

第19回(書面)

- ・開 催 日 平成25年7月29日
- ・決議があった日 平成25年8月 5日
- ・議 案 第1号議案 「選考委員会委員の選出」の件
- 第2号議案 「奨学生選考審査委員会委員の選出」の件

第20回(書面)

- ・開 催 日 平成26年3月 5日
- ・決議があった日 平成26年3月13日
- ・議 案 第1号議案「平成26年度事業計画及び収支予算」の件
- 第2号議案「第12回評議員会の招集」の件

《 評議員会 》 3回開催

第10回(書面)

- ・開 催 日 平成25年4月 8日
- ・決議があった日 平成25年4月15日
- ・議 案 第1号議案 「議事録署名人の選出」の件
- 第2号議案 「監事の選任」の件
- 第3号議案 「評議員の選任」の件

第11回(定時)

- ・開 催 日 平成25年6月10日
- ・場 所 金沢ニューグランドホテル
- ・議 案 第1号議案 「議事録署名人の選出」の件
- 第2号議案 「平成24年度事業報告及び決算」の件
- 第3号議案 「理事選任」の件

第12回(書面)

- ・開 催 日 平成26年3月17日
- ・決議があった日 平成26年3月20日
- ・議 案 第1号議案「議事録署名人の選出」の件
- 第2号議案「平成26年度事業計画及び収支予算」の件